事例No.	3171
公表年度	R6
団体の属性	一般市
団体名	兵庫県赤穂市

事例区分	公営企業

タグ	・下水道事業 ・事務の共同実施

事例種類	最適化

事例内容・タイトル

農業集落排水施設の統廃合

出典

上下水道の経営基盤強化に関する研究会③

【兵庫県赤穂市】
農業集落排水施設の統廃合

広域化等　下水道事業

兵庫県赤穂市上下水道部下水道課

● 取組の概要

今後の人口減少等に伴う有収水量の減少や経済的な汚水処理を図るため、農業集落排水処理施設２施設を１施設に統廃合、１施設を公共下水道事業へ接続を行った。

◆総事業費　調査設計委託料13,581千円、工事請負費146,467千円

◆背景

- 兵庫県赤穂市の農業集落排水事業では、人口減少等に伴う有収水量の減少により収入が減少する中、維持管理費や今後の施設更新等に要する費用が多額になることが見込まれていた。
- これらの課題を解決するため、８地区ある処理施設の内、近隣にある２地区の処理施設を１施設に統廃合した。また、１施設を公共下水道へ接続することとした。

◆具体的内容

- 有年楢原地区処理施設と東有年処理施設は近隣に位置していたため、有年楢原地区処理施設を廃止し、東有年地区処理施設に統合した。また、周世地区処理施設は隣接する公共下水道まで管渠を整備し、接続をおこなった。
- 廃止した各処理施設は、防災資材の備蓄倉庫などに有効活用することとした。

◆効果

- 農業集落排水処理施設の統廃合により、８施設が６施設になったことで維持管理費が削減された（▲約2,906千円/年）。

● 取組のポイント

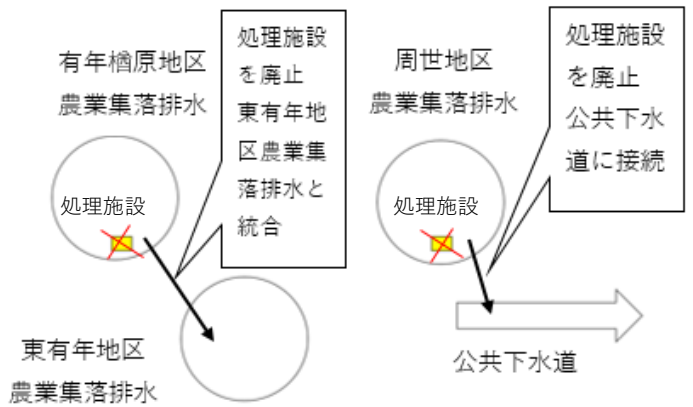
- 農業集落排水処理施設が８施設から６施設になったことで、汚泥運搬費用等の維持管理費が削減された。
- 調査設計委託料・工事請負費に160,048千円と多額の費用を要したが、統廃合により削減された２施設の今後発生する改築や更新にかかる費用が不要となり、事業費の軽減を図ることができる見込み。
- 管路布設等にあたって、関係各所との協議が必要となったが、事前の情報共有などを徹底し、円滑に事業が進められるように取り組んだ。

● 公営企業情報

- 行政区域内人口　45,174人　（令和5年3月31日時点）
- 行政区域内面積　126.88km²（令和5年3月31日時点）
- 処理区域内人口　517人　（令和5年3月31日時点）

※処理区域内人口は、周世地区＋楢原地区

統廃合のイメージ



● 取組のスケジュール

- 平成２９年度に調査設計委託を実施し、令和元年度より工事着工。
- 令和３年４月１日から運用開始。

● 今後の展望

- 残りの農業集落排水処理施設６施設については、河川や国道など、地理的な問題により統合や公共下水道への接続は困難であるが、引き続き施設の集約が可能か検討していく。